

## 山崎哲也会員の有田工業高校を取材

山崎哲也会員が校長を務める佐賀県立有田工業高等学校を取材しました。文字通り、陶器の町有田に位置する学校です。今後陶器だけの需要では地域経済が成り立たないため、現代の経済の推移に合わせた幅の広い教育を行っています。セラミック科、デザイン科、電気科、機械科があります。山崎会員だけでなく、中西美香主幹教諭からもお話をうかがいました。

多彩な地域貢献や外部での授業を行っています。その中でも特に力を入れていることがあります。

第1に、「有田ウィンドウディスプレイ甲子園」です。有田の町は5月のゴールデンウィークの陶器市の時は賑やかになりますが、他の時期には閑散となる傾向があります。この事業は各商店のディスプレイを高校生が行うというものです。商品の陳列だけでなく、店全体のデザインも高校生たちが凝らします。町を歩く人が楽しめ、また、お店に引き込まれます。

第2に、全国レベルで開催されている全国高等学校デザイン選手権大会に毎年参加しています。2011年、2018年などを合わせて過去6回全国優勝しています。全国を制するのは容易なことではありません。高校のデザイン教育の成果でしょう。

第3に、野球部が甲子園大会に出場しています。2022年は春の第94回選抜高等学校野球大会だけでなく、夏の第104回全国高等学校野球選手権に春夏連続出場しています。

第4に、これは緒に着いたばかりですが、地域留学を進めています。セラミック科とデザイン科では「地域みらい留学」として全国から生徒を募集しています。まだ始めたばかりで実績は少ないのですが、今年もオンラインや対面での説明会を実施しています。多くの中学生が参加しました。特に、対面のオープンスクールでは、学科の体験、住まいや町の見学、宿泊体験などをしてもらったそうです。

このほかにも多くの取り組みが行われています。『「地域を愛し 地域に愛される 学校づくり」と全国募集の促進～有田の伝統産業や多様な主体と連携・協働した取組と地域貢献～』をテーマに教育に取り組んでいるそうです。

